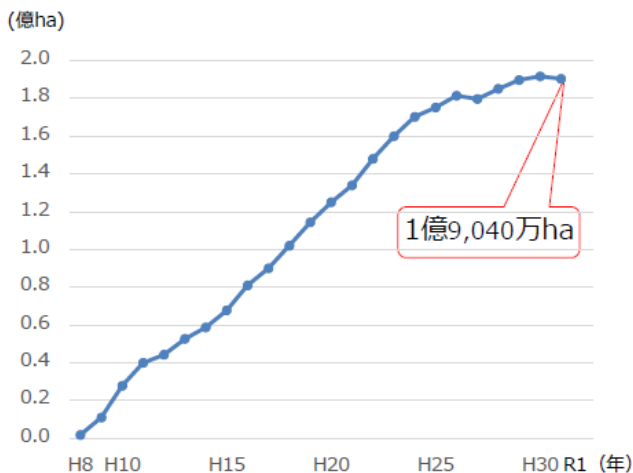


世界の遺伝子組換え農作物栽培状況(令和元年)

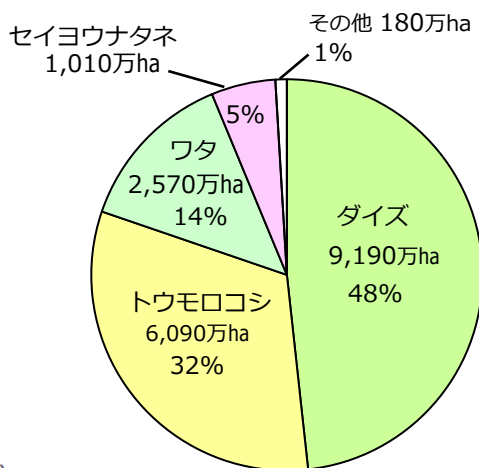
令和元年における世界の遺伝子組換え(GM)農作物の栽培面積は約1億9千万ヘクタール(日本の農地面積の約43倍)で、前年から1%減少となっています。また、主要な栽培作物は4品目であり、ダイズ(48%)、トウモロコシ(32%)、ワタ(14%)及びセイヨウナタネ(5%)となっています。

GM農作物の栽培面積の推移



(資料：国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) 「ISAAA 報告書 (令和元年)」に基づき加工して作成。)

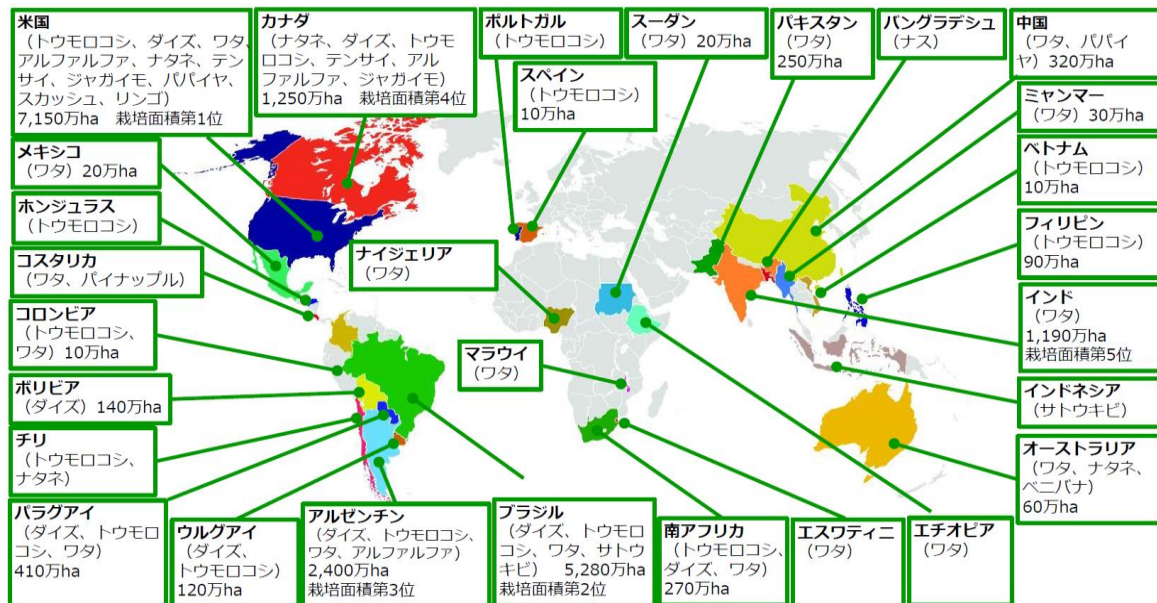
GM農作物の栽培面積割合



(資料：国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) 「ISAAA報告書 (令和元年)」)

世界の栽培状況

栽培国 (29か国)



(資料：国際アグリバイオ事業団 (ISAAA) 「ISAAA報告書 (令和元年)」)